



2025年大阪・関西万博に向けた兵庫のアクションプランver.4 概要

- 4月13日に開幕を迎える万博に向けた県の取組を、最終版としてとりまとめ
- 閉幕後には効果検証を実施し、万博後のレガシーにつなげる

令和7年度 万博関連事業予算 18.3億円 [うちハード:1.5億円]

1 ひょうごフィールドパビリオン(FP)の展開 1.7億円



HYOGO Field Pavilion
ひょうごフィールドパビリオン

260件を認定
(R7.1.28時点)

9件をプレミア・プログラムに選定

※万博開幕後も募集を継続

○万博会期中の誘客に向けた戦略的なプロモーション

- ・旅行博出展、就航先でのPR
- ・HP・SNSやインフルエンサーなど様々な媒体による発信

○万博後の継続も見据えた磨き上げ

- ・商談会・エキスカーションによる商品化支援
- ・取組の検証を行うワークショップ型研修



万博に向けた取組の振り返り、課題の洗い出しを実施

各プレイヤーへのアンケート調査、企画委員会での効果検証を行い、万博後の継続に向けた在り方の検討

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ひょうごEXPO TERMINAL(県立美術館)における魅力発信 4.5億円 [うちハード 0.4億円]

○万博会場「兵庫県ゾーン」

- ・時空を超えた旅で兵庫県の魅力を体感するアトラクション型映像空間

展示コンセプト
HYOGO ミライバス
-体験型SDGs空間-



関西パビリオン
[提供:関西広域連合]

コナトリの回廊

ステンドグラスの回廊

メインホール ミライバス



○ひょうごEXPO TERMINAL(県立美術館)

- ・参加型の展示体験でワクワクしながら兵庫の魅力を発見し、体感できる空間

展示コンセプト
&future HYOGO
-持続可能な未来のヒント-



万博開幕1週間前となる
4/6(日)にオープン!!

ミライの
ひょうごゾーン

フィールドパ
ビリオンゾーン

播州織展示

但馬牛の
組立パズル

3 ひょうごEXPO week(県版テーマウィーク) ひょうごEXPO 41(市町の日) 2.8億円

○ひょうごEXPO week

- ・博覧会協会のテーマウィークに連動し、兵庫独自2分野を加えた10テーマを設定
- ・テーマに応じた「シンクロイベント」を県内で開催

ウィークとシンクロイベント例

開催日調整中

- ▶ 食と暮らしの未来ウィーク(6/5-6/16)
「環境創造型農業サミット」：6/7(土)@豊岡市
- ▶ 災害からの創造的復興ウィーク(9/15-9/21)
「創造的復興サミット」：9/20(土)@神戸市

○ひょうごEXPO 41

- ・市町や地域単位での情報発信を集中的に行う「市町の日」を設定
- ・万博期間中、原則1市町1日で、地元市町や万博会場等で魅力を発信



4 会期中のイベント・プロモーションの実施 8.3億円

[うちハード 1.0億円(原状復帰等)]

主なプロモーション内容

- ▶ **イベントカレンダー**：EXPOweek、EXPO41など県万博関連イベントをカレンダーで公表
- ▶ **ひょうごEXPOデジタルスタンプラリー**：FPを対象としてきたスタンプに兵庫県ゾーンやEXPO weekイベント等を新たに追加し、万博会場と県内の周遊を促進
- ▶ **各種媒体によるプロモーション**：新聞、TV・HP・SNS、鉄道広告等を戦略的に活用

○万博施策の一体的プロモーション

- ・万博期間中、様々な媒体を活用し、各種施策の認知度向上、誘客促進を図るための一体的なプロモーションを展開

○万博会場での催事開催

	ひょうごフィールドパビリオン ウィーク	ひょうごフィールドパビリオン フェスティバル2025	ひょうごフレンドシップ ウィーク
日時	5/20(火)～5/25(日)	5/26(月)～5/30(金)	9/24(水)～9/29(月)
場所	関西パビリオン「多目的エリア」	ギャラリーWEST、ポップアップステージ 西	関西パビリオン「多目的エリア」
内容	兵庫の酒や交通事業者の取組等を発信、FPフェス2025の前夜祭として開催	FPプレーヤーが一堂に会し、地域の魅力やSDGsの取組を発信	兵庫と他府県が共通の地域資源や連携した取組を一体的に発信



○ひょうご楽市楽座の開催

- ・万博期間中に設置される「尼崎万博P&R駐車場」隣接地で兵庫五国の魅力発信と交流人口の拡大を図る「ひょうご楽市楽座」を開催

- ▶ **日時** 4/13(日)～10/12(日)の土日(計53日間) 午後4時～午後9時
- ▶ **実施イメージ** 兵庫五国の県産品マルシェ、FPのPR、県内各地のプレーヤーによるステージ出演 等

○空飛ぶクルマデモフライトイベントの開催

- ・万博期間中に予定される事業者による会場外との2地点間デモフライトの機会を活用し、空飛ぶクルマの社会受容性向上のためのイベントを開催



5 ひょうごEXPO DREAM BUILDERS (子どもの夢プロジェクト) 0.5億円

- ・兵庫の子ども達が主体的に万博に関わり共創するプロジェクトを推進



主なプロジェクト

- ▶ **ひょうごの宝探し**：FPプレーヤーの宝を取材した3分動画等を制作、優秀作品を万博会場で表彰・発表
- ▶ **ひょうごの魅力を届けるお仕事体験**：FP等での仕事体験で得た「気づき」を万博会場で発表
- ▶ **ひょうごこども万博**：夢のスピーチコンテストなど子ども達の夢を実現するプロジェクトを各地域で実施

6 公民連携による万博子ども招待 プロジェクト 0.4億円

- ・趣旨に賛同する企業と連携し、県内の子どもたちを学校行事として万博会場へ招待するプロジェクトを展開(企業からチケットの寄付を受領)

連携企業

川崎重工業株式会社
株式会社神戸製鋼所
シスメックス株式会社



[R6.4.11共同記者会見]

7 推進体制の整備 0.1億円

- ・企画委員会による事業検証の実施
- ・経済波及効果の分析
- ・県内全市町、関係団体、FP等で構成する推進協議会での情報共有

オール兵庫で取組を推進
万博後のレガシーにつなげる

2025年大阪・関西万博に向けた 兵庫のアクションプラン ver.4



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs

—2025年2月10日 兵庫県





I アクションプランの概要・位置づけ

II 各事業展開

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ひょうご EXPO TERMINAL(兵庫県立美術館)における魅力発信

3 ひょうご EXPO week(兵庫県版テーマウィーク)による魅力発信

4 ひょうご EXPO 41(リージョナルデー「市町の日」)による魅力発信

5 ひょうご EXPO DREAM BUILDERS(子どもの夢プロジェクト)の実施

6 公民連携による万博子ども招待プロジェクト

7 会期中のイベント・プロモーションの実施

8 推進体制の構築

III 施策体系別一覧

IV ロードマップ

V 万博開催に向けた兵庫の取組のKPI

Ⅰ アクションプランの概要・位置づけ



- ◆ 「2025年大阪・関西万博」に向け、現時点で兵庫県が実施を予定している関連事業をとりまとめたもの
- ◆ 令和5年度当初予算編成にあわせてver.1を公表（R5.2.7）
- ◆ ひょうごフィールドハビリオンの磨き上げ、プロモーション、兵庫県版テーマウィークの設定など具体化した内容を反映し、ver.2として更新（R5.9.20）
- ◆ 万博に向けた仕上げの1年として、令和6年度当初予算編成にあわせてver.3として更新（R6.2.8）
- ◆ 2025年万博会期中の取組等について、令和7年度当初予算編成にあわせてver.4【最終版】として更新（R7.2.10）
- ◆ 「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会等を通じて、県、市町、民間事業者等関係者と方向性を共有、連携し、兵庫の取組を推進



▲山田錦



▲但馬牛

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開



・地域の「SDGsを体現する活動の現場そのもの(フィールド)」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「**ひょうごフィールドパビリオン(FP)**」を展開する。

・**万博後にも継続する地域活力の創出に向けて**、「躍動する兵庫」を切り拓いていく**地域のヒーロー**に光を当てる。

21世紀型万博の意義 人類共通の課題解決（アイデア）を発信する場

兵庫五国での取組には
**世界が持続可能な発展
を遂げていくための多くの
ヒントが秘められている**

兵庫では、歴史も風土も異なる個性豊かな五国において、
地域の人々が主体的に課題解決に取り組み、未来を切り拓いてきた

- 阪神・淡路大震災からの **創造的復興**
- 人と環境にやさしい **循環型農業**
- 豊饒な大地や海に育まれた **食材**
- 挑戦を繰り返してきた **地場産業**
- 郷土の自然と暮らしの中で受け継がれてきた **芸術文化**



大阪・関西万博に合わせ、「ひょうごフィールドパビリオン」を展開

経済

- 地場産業の継承・発展
- 交流人口の増加
- 企業・産業の誘致
- 企業ブランドの向上
- 若者の県内就職の増加

社会

- シビックプライドの醸成
- 定住人口の増加
- 住環境の改善、
地域の魅力向上
- 地域文化の保護・育成

環境

- 持続可能なライフスタイルの構築
- 環境負荷の低減
- 環境に取り組む人材・団体の増加

<三側面をつなぐ
統合的取組>



ひょうごフィールドパビリオン
Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

260件を認定
(R7.1.28時点)

9件をプレミア・プログラムに選定

※万博開幕後も募集を継続

<プログラム例>



—6—「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる



新発見！デザイナー-tamaki niimeによる
播州織のものづくり体験

**定住・交流人口の増加、持続可能な地域の
実現、地域内経済循環の構築を目指す**

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

(1) プロモーションの展開

【R7事業費：76百万円】



・WEBサイト等による情報発信によりフィールドパビリオンの認知度向上を図るとともに、国内外に積極的にプロモーションし、兵庫への誘客を戦略的に展開。

・旅行商品化の促進など、国内外から兵庫各地への人の流れが万博後も継続する仕組みの確立をめざす。

R5・6
年度

国内外への旅行博や航空会社就航地イベント等へ出展したほか、インフルエンサーを活用したモニターツアーやファムトリップを実施。専用サイトやSNS等を活用した情報発信を展開し、誘客促進を図ってきた。

R7
年度

2025年 大阪・関西万博 開催中のプロモーション 【フィールドパビリオンの認知度向上、誘客促進】

海外向けプロモーション

✓ 訪日時の訪問先としての組み込みを促進

(1) 旅行博等への出展(海外事務所等)

海外事務所を中心に、海外で実施される旅行博等へ出展するとともに、フォローアップを実施



国内向けプロモーション

✓ 旅行商品化の促進 ✓ 校外学習等の活用を働きかけ

(1) 旅行博等への出展

国内最大旅行博「ツuris EXPOジャパン」や県内で開催される各地のイベントへの出展

(2) 就航先等でのプロモーションの展開

就航先でのプロモーションイベントを開催するとともに、機内誌や案内所等での広報の実施



WEBサイト・広報素材等による情報発信 ✓ 万博期間中への県内誘客促進

(1) 専用WEBサイトやSNS等を活用したプロモーション
イベントカレンダーなど専用WEBサイトの活用、Instagram等のSNSを活用したキャンペーンの実施、インフルエンサーを活用した情報発信等を展開

(2) メディアの活用によるプロモーション
国内外のWEBメディアや広告等でのフィールドパビリオンの動画配信、地域特集冊子やポスター・チラシ等の配布



専用サイト <https://expo2025-hyogo-fieldpavilion.jp>



Instagram



@hyogo_field_pavilion



地域特集冊子



国内外から兵庫各地域への人の流れを生み、万博後も継続できる仕組みの確立をめざす

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

(2) プログラムの磨き上げ

【R7事業費：10百万円】



- ・これまで取り組んできた磨き上げ研修等を踏まえて、**万博に向けて準備してきた内容と万博期間中の実践の振り返りと検証を行い、解決に向けた磨き上げを実施。**
- ・プレーヤーへのアンケート調査を行い、企画委員会において方向性の議論・効果検証を実施。**万博後の継続を前提とした在り方について、検討結果を公表。**

R5・6
年度

誘客プログラムとしての魅力向上と受け入れ体制整備を図るために、基礎知識や、マーケティング視点からのプログラム見直し等の座学研修や、プレーヤー同士が相互訪問し、**プレーヤー等のネットワーク化を促進する**実地研修を実施。

R7
年度

2025年 大阪・関西万博

誘客プログラムとしての万博期間中の実践を踏まえた検証と活用

① 商品化支援

ツアー造成に向けた商談会及び
エクスカーションの実施

- ・プレーヤーと旅行会社のマッチングやエクスカーション等を実施し、旅行商品化を支援



② 磨き上げ研修

万博に向けた取組と実践を振り返るワークショップ型研修の実施

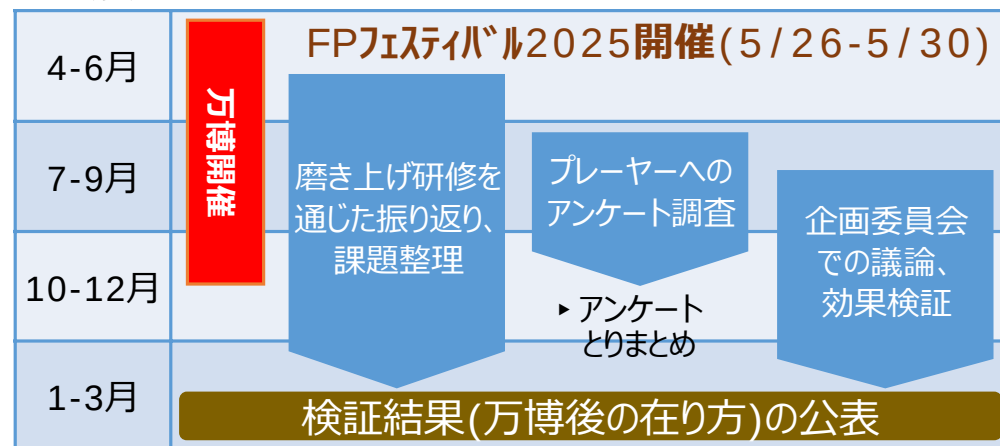
- ・これまで準備してきた内容が、万博でどう活かされ、どのような課題があったのかを検証
- ・検証結果を踏まえ、さらなるステップアップを目指す



③ 万博後の継続に向けた在り方検討

プレーヤーへのアンケート調査、企画委員会での議論を通じた在り方検討

- ・FPフェス終了後、順次プレーヤーへのアンケート、ヒアリングを実施
- ・企画委員会における方向性の議論、効果検証を行い、万博後の在り方を公表



国内外から兵庫各地域への人の流れを生み、万博後も継続できる仕組みの確立をめざす

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ ひょうごEXPO TERMINALにおける魅力発信

【R7事業費：447百万円】

(うちハード42百万円)



・万博会場の関西パビリオン「兵庫県ゾーン」と県内拠点であるひょうごEXPO TERMINAL（県立美術館ギャラリー）において、兵庫発のSDGsが体験できるフィールドパビリオンをはじめとした多彩な魅力を展示を通じて発信。

万博会場「兵庫県ゾーン」

(関西パビリオン内、面積：約160㎡)

展示コンセプト

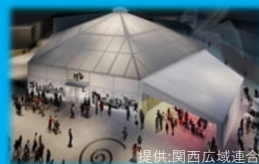
時空を超えた旅で兵庫県の魅力を
体感するアトラクション型映像空間

**HYOGO
ミライバス**

-体験型のSDGs空間-



- ▶ 座席に座って楽しめるシアター空間
- ▶ トークセッションをはじめとしたイベントが展開可能



目標来場者数

100万人

兵庫県ゾーン 40万人
兵庫県立美術館 60万人



©Nobutada Omote_ONP8457

4/6先行オープン!



- ▶ 来場者参加型・体験型の展示空間
- ▶ 子どもが主体となって発信・共創する展示

ひょうごEXPO TERMINAL

(兵庫県立美術館ギャラリー棟3階ギャラリー、
面積：約620㎡)

展示コンセプト

参加型の展示体験で、ワクワクしながら
兵庫の魅力を発見し体感できる空間

&future HYOGO

-持続可能な未来のヒント-

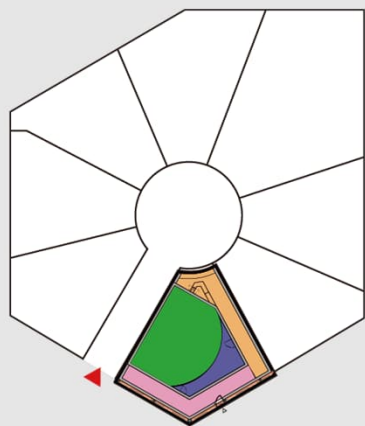
【ロードマップ】

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①展示設計・制作	展示設計	展示制作	現場工事
②会場運営等		運営マニュアル作成・スタッフ研修等	運 営

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ひょうごEXPO TERMINALにおける魅力発信



万博会場「兵庫県ゾーン」



メインホール入場前の待ち空間
「コウノリの回廊」

➤ 子どもたちが制作したコウノリの折り紙を天井面いっぱいに装飾した空間で来場者をお出迎え

➤ 展示専用スペースを活用し、市町をはじめとした様々な主体が万博会場で魅力や取組みを発信

➤ ひょうごEXPO TERMINALとリアルタイムでつながるドア型のモニターを設置



※画像はすべてイメージ

➤ フィールドパビリオンの活動等を色鮮やかなステンドグラスアートで表現した空間。光に照らされたアート作品が来場者に降り注ぐ、幻想的なアート・コリドーを演出

➤ 作品はコウノリや丹波焼などのひょうごを象徴するモチーフを中心にデザインを行い、**県内の芸術活動家が制作に携わる県民参加型展示**

展示棚（3段）

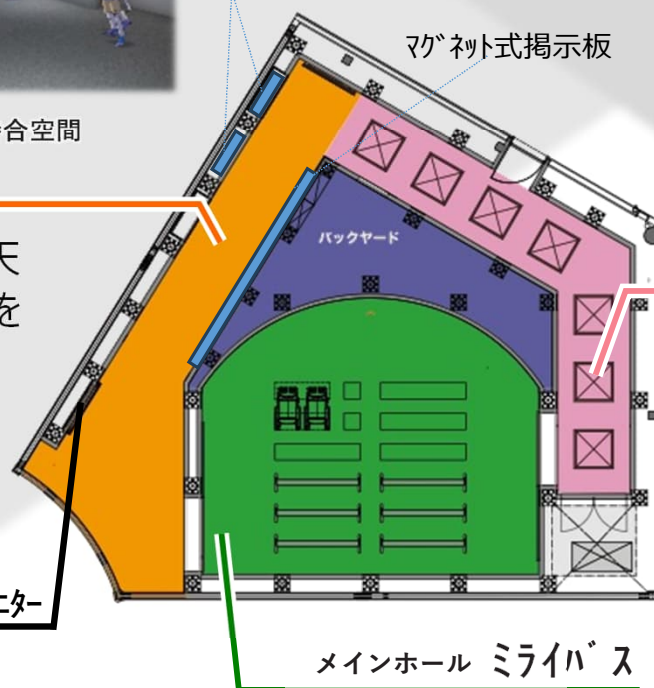
マグネット式掲示板



▲ステンドグラスのデザイン



ステンドグラスの回廊



メインホール ミライバス



➤ シアター空間“HYOGOミライバス”で、**ひょうごの過去から未来を巡る約10分間の動画放映**（座席数：54席）。「兵庫は続ける、乗り越える」をテーマに、**フィールドパビリオンをはじめとした兵庫の様々な表情や魅力、その背景を巡る旅を演出**

➤ ひょうご EXPO 41やひょうご EXPO weekなどに位置付けられたイベント等もメインホールで開催予定（伝統文化・観光PR動画の放映、1970年大阪万博に関連するイベントなどを想定）

➤ ミライバスの映像やステンドグラスをはじめとした**万博展示物をガッシーとして後世に引き継ぐことを検討**

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ひょうごEXPO TERMINALにおける魅力発信



ひょうごEXPO TERMINAL (兵庫県立美術館)



万博開幕 1 週間前となる 4/6(日)にオープン!!
(4/5(土)にオープニングセレモニー・内覧会等を実施予定)

- 「ミライのひょうごのまち」をテーマに 子どもたちから集めた絵画作品をデジタルアート化し展示。(実物絵画はギャラリー外側の回廊壁面に展示)



- 来場者用のイラスト作成パースを設置し、その場で描いたイラストが映像に入り込む仕掛けも用意

ミライのひょうごゾーン



ドア型モニター

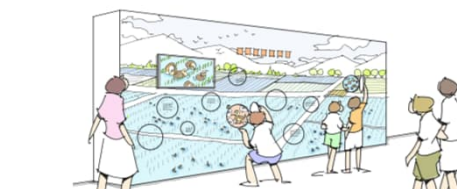
- 万博会場「兵庫県ゾーン」とリアルタイムでつながるドア型のモニターを設置

フィールドパビリオンゾーン



日本で唯一、純血の血統を守り続けている「但馬牛の組立パズル&枝肉マッピング」

約千年の間続いてきた丹波焼の秘密や作る工程が学べる「丹波焼すごろく」



人と環境にやさしい環境創造型農業の特徴が学べる「体験型展示」



世界的トップブランドにも支持される「播州織のトンネルアート」



ひょうごの魚がなぜおいしいかのヒミツを学べる「アート型展示」

- フィールドパビリオンの体験メニューをパズル等で展示し、子どもから大人まで楽しみながら学べるゾーン
- ワケジョップをはじめとした 各種イベント・催事等が実施可能なリースペースも設置 (土日祝・夏休み限定)

3「ひょうご EXPO week」による魅力発信

【R7事業費：5百万円】



- ・国際博覧会協会が実施する「**テーマウィーク**」に連動して、公式8テーマに“**兵庫ならではの**”の独自2分野を追加した**計10テーマ**により「**県版テーマウィーク**」として展開。
- ・各テーマに沿った県内各地の取組を「**シンクロイベント**」として募集。県が認定し、広くPRを実施。
- ・シンクロイベントの開催や各イベントへの参加を通じて、「**県民が参加できる万博**」をめざす。

①「ひょうご EXPO week」概要

テーマ



① 未来への文化共創 (4/25(金)～5/6(火))	② 未来のコミュニティとモビリティ (5/15(木)～5/26(月))	③ 食と暮らしの未来 (6/5(木)～6/16(月))	④ 健康とウェルビーイング (6/20(金)～7/1(火))	⑤ 学びと遊び (7/17(木)～7/28(月))
⑥ 平和と人権 (8/1(金)～8/12(火))	⑦ ひょうごの成長産業と地場産業【県独自】 (8/30(土)～9/8(月))	⑧ 災害からの創造的復興【県独自】 (9/15(月)～9/21(日))	⑨ 地球の未来と生物多様性 (9/17(水)～9/28(日))	⑩ SDGs+Beyond いのち輝く未来社会 (10/2(木)～10/12(日))

募集内容

※令和6年4月より募集開始、万博開催期間中も随時受付（詳細は県HPの応募用ページを参照）

- 対象：県、市町、県内で活動する団体、大学等
- イベント：県内各地で開催する「テーマ」に合致するイベント（原則、テーマ期間内で開催するもの）
- メリット：認定されたイベントを**県が一体的に周知・広報**（「②プロモーション」参照）



[応募用ページ]

②プロモーション

- ・県専用WEBサイト「イベントカレンダー」へ掲載するとともに、「7 ①万博施策の一体的プロモーション」の中で各種媒体を活用した広報を実施
- ・ラジオ番組を活用したプロモーションを展開 等

ラジオとのコラボ企画

各テーマの内容に関するリスナー投稿を募集し、番組の中でパーソナリティと議論

万博のテーマを構成する各weekのテーマを、自分ごととして考えてもらう機会とし、万博の意義やSDGs達成に向けた意識を高める。

ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①事業推進	企画検討	本開催に向けた準備	本開催
②参画促進・情報発信		募集(4月～)、参画促進(実施主体向け)	広報(一般向け)

3「ひょうご EXPO week」による魅力発信



【参考】各テーマと主なシンクロイベント（イメージ）

※下記掲載のイベントは、現時点で実施予定のもの（今後、変更可能性あり）

2025年4月

5月

6月

7月

①未来への文化共創

4/25(金)-5/6(火)

多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか？

例：伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、マンガ・アニメ、eスポーツなど



ひょうご国
～HYOGO産を世界に発信
するプロジェクト2025～

②未来のコミュニティ

5/15(木)-5/26(月)

誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは？

例：スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaSなど



淡路夢舞台地区における
自動運転による来訪者
移動支援

③食と暮らしの未来

6/5(木)-6/16(月)

全ての人が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか？

例：フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費など



コウノトリと、トキと、食・地域の未来と。
～兵庫県・豊岡市×新潟県・佐渡市
環境創造型農業サミット～(仮称)

④健康とウェルビーイング

6/20(金)-7/1(火)

一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか？

例：感染症対策、ウェルビーイング、ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、PHR、健康寿命、SBNR、安全な水とトイレなど



well-囃む(welcome)
EXPO'25

⑤学びと遊び

7/17(木)-7/28(月)

AI時代において人は何を学ば良いのか？

例：生涯学習、EDTEC、知財活用、個別最適化学習、遠隔教育、若者自立、教育格差、STEAM、アントレプレナーシップ、世界の遊びなど



夏休みものづくり体験講座
(県立ものづくり大学校)

8月

9月

10月

⑥平和と人権

8/1(金)-8/12(火)

あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか？

例：飢餓、貧困、格差社会、人権侵害、児童労働・強制労働、障がい者参加、ジェンダー平等、LGBTQ、女性の活躍推進、多様性と包摂性など



ひょうご・ヒューマン
フェスティバル

⑦ひょうごの成長産業と地場産業 [県独自]

8/30(土)-9/8(月)

兵庫経済をけん引する次世代成長産業、地場産業等を持続的に発展させるために、世界は何をすべきか？

例：水素等新エネルギー、航空、ドローン、空飛ぶクルマ、ロボット、半導体、健康医療産業、産学官連携、ワーカー技術、地場産業、伝統的工芸品、ブランド化、海外展開 など



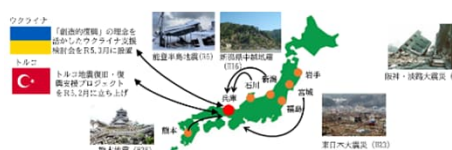
国際フロンティア
産業メッセ2025

⑧災害からの創造的復興 [県独自]

9/15(月)-9/21(日)

将来の災害に備えると共に、災害前よりもより良い社会へと復興するにはどうすべきか？

例：創造的復興、Build Back Better、防災・減災、レジリエンス など



—13—
創造的復興サミット

⑨地球の未来と生物多様性

9/17(水)-9/28(日)

豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？

例：気候変動、脱炭素、生物多様性、サーキュラーエコノミー、再生可能エネルギー、水素社会、ネイチャーポジティブ、森林破壊、海洋汚染、里山再生、淡水資源など



ひょうご里山・里海
国際フォーラム

⑩SDGs+ Beyondいのち輝く未来社会

10/2(木)-10/12(日)

SDGsは達成できるか？そして、その先はどうする？

例：SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会



ひょうごSDGs
フォーラム (仮称)

4 ひょうご EXPO 41による魅力発信

【R7事業費：5百万円】



・万博開催期間中、兵庫県内41市町の魅力を集中的に発信する「**市町の日**」を設定。県内全域の人々が**万博を身近に感じ、ふるさとの魅力を見つめ直すきっかけとする**。

・市町実施イベントを各種媒体、インフルエンサー等を活用して発信し、市町の認知度向上および兵庫への誘客を促進。

①ひょうご EXPO 41（市町の日）概要

実施日

- ・万博期間中、**1市町につき1日**実施 ※36市町が日程決定済み
- ・複数市町で実施の場合は、合計日数内（例）3市町の場合は3日以内

実施内容(例)

万博会場、県内各地で市町や地域単位の情報発信等を集中的に実施

実施場所			内容(例)
万博会場	関西パビリオン 兵庫県ゾーン	メインホール	伝統文化・観光PR動画放映、地元出身者によるトークイベント等
		コリドー	地場産業・特産品PRのための実物展示、動画放映、ポスター展示等
	各催事場(ギャラリーWEST等)		地場産品の魅力を伝えるファッションショー、ワークショップ等
兵庫県内	ひょうごEXPO TERMINAL(県立美術館)回廊		特産品の物販、パ〇礼展示、PRキャンペーン等
	各地(各市町等)		※各市町域内で「市町の日」イベント開催等



②プロモーション

- ・県専用WEBサイト「イベントカレンダー」へ掲載するとともに、「7 ①万博施策の一体的プロモーション」の中で各種媒体を活用した広報を実施
- ・各市町イベント実施日を掲載したポスター・チラシの配布
- ・インフルエンサーを活用した「ひょうごEXPO 41 PR動画」によるプロモーション等

ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
イベント開催	企画検討	本開催に向けた準備	本開催
情報発信		広報	

5 ひょうごEXPO DREAM BUILDERS (子どもの夢プロジェクト)の実施

【R7事業費：51百万円】

※下表④、⑤の事業費を計上
(①～③は展示設計・制作費
の中で実施)



- ・**万博という特別な機会に兵庫県の子どもたちが参加できる企画**を実施し、「未来に対してワクワクする」、「楽しく学び、その経験が未来につながる」など、今までに無い経験や新しい価値観に触れる機会を創出。
- ・兵庫の地域資源や魅力に触れ・知ることで、**子どもたちの兵庫へのシビックプライドを醸成**。

①コンセプト

子どもたちが**主体的に**万博に関わり、子どもと**共創**するプロジェクト

大切にしたい5つの視点



挑戦

失敗してもいいからチャレンジできる

能動

自分から積極的にアクションを起こせない子どもたちも活躍

個性

自分の活かし方を見つけるきっかけ

包摂

誰一人取り残さない

体感

5感で感じられる



兵庫の子どもたちが
兵庫から
子ども目線で発信



ひょうご
EXPO

DREAM BUILDERS

②プロジェクト内容

事業名	R 6	R 7 ※画像はイメージ
①ミライのひょうごのまちを描こう (絵画) 【小・中学生】	・夏休みの自由課題等で「ミライのひょうごのまち」をテーマに絵画作品を募集 【応募枚数】 県内60校：679枚 兵庫津イベント：7枚 	・応募のあった絵画作品をデジタル化し、1つの大きなまちとして、ひょうごEXPO TERMINAL (兵庫県立美術館ギャラリー)に展示 ・実物絵画もギャラリー外側の回廊壁面に展示 
②ひょうごの宝探し(動画・写真) 【中・高生、大学生】	・FPプレイヤーの思いや地域の宝を取材・撮影した動画等を募集。学年単位で取り組む学校もあり、3分動画部門では、13校56チームが参加(2月頃に優秀賞等を選考) ・15秒動画：18本、写真：70枚の応募あり	・関西パビリオン兵庫県ゾーン等で動画などを展示 【3分動画】ひょうごEXPO TERMINALで放映 ※優秀賞等を受賞した作品は万博会場(関西パビリオン多目的1F)で表彰式・発表会を実施 【15秒動画・写真】兵庫県ゾーン(回廊)で放映

5 ひょうごEXPO DREAM BUILDERS (子どもの夢プロジェクト) の実施



②プロジェクト内容

事業名	R 6	R 7 ※画像はイメージ
③はばたけコウノトリ (折り紙) 【未就学児・小学生】	- 県内各地の施設等と連携した折り紙イベントを実施 - コウノトリ文化館・兵庫津ミュージアム等の公共施設と連携したイベントや、フィールドパビリオンフェスティバル2024など<u>14イベントで723羽のコウノトリを制作</u>	関西パビリオン兵庫県ゾーン（回廊空間）に展示 
④ひょうごの魅力をお届ける仕事体験 【小・中学生】	県内の小・中学生24名が参加し、<u>各地のフィールドパビリオンを仕事として体験</u>。 【体験スケジュール】 11/3～4：丹波焼、但馬牛、醤油等 1/19：夕拝、能 3/2：明石海峡大橋（メンテナンス）	- 体験を通じて得た学びや気づきをひょうごの魅力としてまとめ、万博会場で発表 <u>発表会は、5/20～25に関西パビリオン多目的エリアで開催するFPウィークの中で実施</u> 
⑤ひょうごこども万博 【未就学児・小学生】	<u>子どもたちの主体性を引き出す子ども向け授業を実施</u>（夢のを見つけ方、夢の叶え方、テクノロジー、コミュニケーションなど） 【リアル授業】 - こどもの館や神戸ハーバーランドumieなどで5回の授業を実施 【オンライン授業】 ※アーカイブ動画の配信もあり 1月以降、毎週テーマを変えて授業を配信 	<u>県内5か所で子どもたちの夢を実現するイベント</u>（夢のスピーチコンテスト、子供縁日、起業家体験、職業体験等）を実施 【主な会場（予定）】 - 神戸アリーナ - 上山高原 - 篠山城跡 ほか ※会場は調整中のため変更の場合あり

ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
プロジェクト企画・推進	企画検討	プロジェクトの準備	実施(成果発表)

6 公民連携による万博子ども招待プロジェクト

【R7事業費：44百万円】



・今ここでしか体験できない特別な学びの場となる「大阪・関西万博」に**子どもたちを招待する兵庫県の取組に賛同する企業と連携し、万博子ども招待プロジェクトを実施。**

・万博会場で公式パビリオンや民間パビリオンなどの**SDGs達成に向けた先進的な取組**等に触れたり、事前・事後学習でフィールドパビリオンを学ぶなど、**未来社会や将来の自分を考えたり、SDGsへの関心を高める機会**とする。

①「公民連携による万博子ども招待プロジェクト」概要

実施内容

- ・学校行事として、万博会場への訪問を希望する県内の学校へチケットを配布。
- ・兵庫県の取組に賛同する企業から、必要なチケットの寄附を受領。今後の追加希望分は県で負担。

連携企業

- ・川崎重工業株式会社
- ・株式会社神戸製鋼所
- ・シスメックス株式会社

対象者

- ・県内学校に通う、小・中学生及び高校生（特別支援学校含む）のうち、訪問を希望する学校・児童生徒。

②プロジェクトの進捗

各学校への説明会、万博会場への訪問意向調査の実施

- R6.4月：各学校長会等で事業説明
- R6.6月：各学校向けにオンライン説明会
- R6.7月：各学校へ意向調査を実施
- R6.9月：意向調査結果とりまとめ・公表

各学校へのサポート

- ▶ 学校の意向を踏まえ、バス手配やパビリオン団体休憩所の予約等を県事務局が対応
- ▶ 万博会場の安全対策等状況について、博覧会協会最新情報を説明会等において発信
- ▶ その他、県・市町教育委員会とも適宜情報共有を行い、学校や市町が抱える不安を払拭

ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
プロジェクト企画・推進	企画 検討	共同 意見 説明会 意向調査	各学校へのサポート 万博会場訪問→アンケート実施

＜参考：連携企業との共同記者会見の実施＞

万博開幕1年前を契機に、賛同する3社との共同会見を4/11に実施



参考：第一次訪問意向調査結果(9/20時点)

- ▶ 意向調査回答率：約7割
- ▶ 訪問意向学校数：約280校 ※全対象数の約21%
- ▶ 訪問意向生徒数：約7万人 ※全対象数の約13%

7 会期中のイベント・プロモーションの実施

【R7事業費：524百万円】
(うちR7 96百万円)



- ・万博期間中、様々な媒体を活用し、各種施策の認知度向上、誘客促進を図るための一体的なプロモーションを展開。
- ・フィールドパビリオンをはじめ兵庫の魅力を発信するため、万博会場来場者や「尼崎万博P&R駐車場」利用者をターゲットにした催事を開催。

① 万博施策の一体的プロモーション

(1) イベントカレンダー【R7.1.8公表】

万博期間中のひょうごEXPO week、ひょうごEXPO 41など
県万博関連イベントをカレンダーとして公表（随時更新）



【専用WEBサイト内に掲載】

(2) デジタルスタンプラリー

万博開幕1年前からフィールドパビリオンを対象に実施している「ひょうご EXPO デジタルスタンプラリー」のスポットに兵庫県ゾーン等を新たに追加し、万博会場と県内各地の周遊を促進

追加スポット（予定）

【4/6～】ひょうごEXPO TERMINAL

【4/13～】兵庫県ゾーン、ひょうごEXPO 41、ひょうごEXPO week、ひょうご楽市楽座



(3) 各種媒体を活用したプロモーション ※詳細は調整中

紙面（新聞、広報紙）、TV・HP・SNS、鉄道関係（車両内・駅広告等）など各種媒体を活用したプロモーションを展開

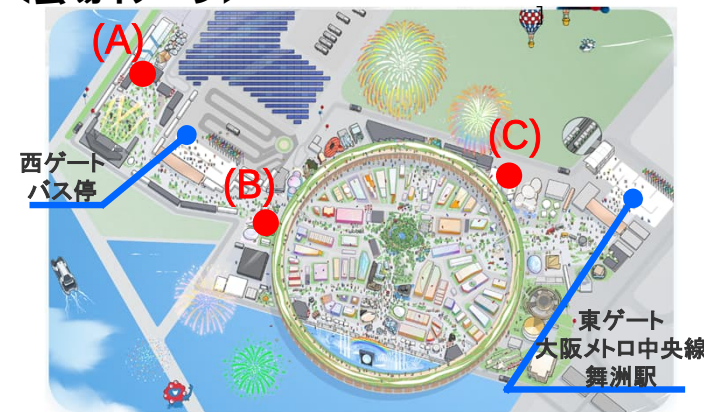
② 万博会場での催事開催

	ひょうごフィールドパビリオンウィーク	ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2025	ひょうごフレンドシップウィーク
日程	5/20(火)～5/25(日)	5/26(月)～5/30(金)	9/24(水)～9/29(月)
場所	関西パビリオン「多目的エリア」	万博会場催事場「ギャラリーWEST」及び「ポップアップステージ西」	関西パビリオン「多目的エリア」
内容	<u>兵庫の酒や交通事業者の取組</u> などFPや兵庫の魅力発信につなげる出展を行い、連続する「 <u>FPフェスティバル2025</u> 」の <u>前夜祭</u> として開催	FPプレーヤーが一堂に会し、 <u>自らの地域の魅力やSDGsの取組を発信</u> する展示やワークショップ、ステージイベント等を実施	<u>兵庫と他府県</u> が共通の地域資源や連携した取組を一体的に発信するイベントを開催

— 18 —

<会場イメージ>

【2025日本国際博覧会協会HPより引用】



(A) ギャラリーWEST

(B) ポップアップステージ西

(C) 関西パビリオン(多目的エリア)



【提供：関西広域連合】

7 会期中のイベント・プロモーションの実施



③ 尼崎万博P & R駐車場隣接地(尼崎フェニックス事業用地)の活用

(1) ひょうご楽市楽座の開催

万博期間中に設置される「尼崎万博P & R駐車場」利用者(最大約 1 万人/日)を主なターゲットに、その隣接地で兵庫五国の魅力を発信と交流人口の拡大を図る

「ひょうご楽市楽座」を開催。

期間 2025年4月13日(日)～ 10月12日(日) の土日 (計53日間)

時間 午後4時～午後9時

場所 尼崎フェニックス事業用地 (「尼崎万博P & R駐車場」隣接地)

実施イメージ

- ・兵庫五国の魅力を発信する県産品マルシェ
- ・ひょうごフィールドパビリオンPR
- ・県内各地のプレイヤーによるステージ出演 等



(2) 空飛ぶクルマデモフライトイベントの開催

万博期間中、事業者が会場外との2地点間デモフライトの実施を予定。
次世代モビリティを身近で体験できるこの機会を活用し、**県民に対する空飛ぶクルマの社会受容性向上のためのイベントを開催。**



▲空飛ぶクルマの運航イメージ (丸紅株提供)



▲尼崎フェニックス事業用地に整備された暫定ポート

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①機運醸成、プロモーション	500日前イベント	300日、半年、1か月前の節目にカウントダウンイベントを実施	一体的プロモーション
②万博会場での催事開催	企画検討、関係者等との調整		本開催
③尼崎万博P & R駐車場隣接地の活用	企画検討、関係者等との調整		本開催
		インフラ整備	原状復帰

7 会期中のイベント・プロモーションの実施



【参考】主な事業例

※下記は、現時点で予定している主なもの（個別事業の詳細は、別冊(個票)を参照)

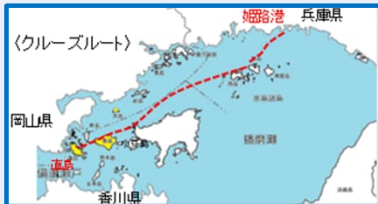
事業名 【R7事業費】	事業概要
多彩なメディアを活用した広報展開 【363百万円(内数)】	広報紙(県民だよりひょうご)や情報番組、各種SNSなど多彩なメディアを活用した発信を行い、フィールドパビリオン等の興味・関心の向上及び賑わいを創出  (ひょうご発信!)
大阪湾ベイエリア活性化(クルージングMICE) 【10百万円】	国内外からの誘客を促進する手段の1つとして、船舶特有の非日常感や船上でのコンテンツを付加価値としたクルージングMICEを推進   (海上交通実証実験) (船上コンテンツの例)
但馬牛・神戸ビーフの情報発信拠点の連携強化 【3百万円】	「但馬牛博物館」と「神戸ビーフ館」という2つの情報発信拠点が協力、連携したイベントを実施し、一体的・総合的な但馬牛・神戸ビーフの情報発信体制を構築   (但馬牛博物館) (神戸ビーフ館)
淡路花博25周年記念花みどりフェア	国際園芸造園博「ジャパンフローラ2000」開催と、2010年以降5年毎の花みどりフェアを通じて培ってきた「人と自然の持続的な共生のあり方」をレガシーとして継承・発展させ、万博の機会を捉えて国内外に発信   (淡路会場) (洲本城SAKURAライトアップ)
ミュージアムロード魅力発信事業の実施 【3百万円】	兵庫県内の万博情報発信拠点となる「ひょうご EXPO TERMINAL(兵庫県立美術館)」を含むミュージアムロードの魅力向上や発信を行い、周辺地域における万博への機運を醸成 

7 会期中のイベント・プロモーションの実施



【参考】主な事業例

※下記は、現時点で予定している主なもの（個別事業の詳細は、別冊(個票)を参照)

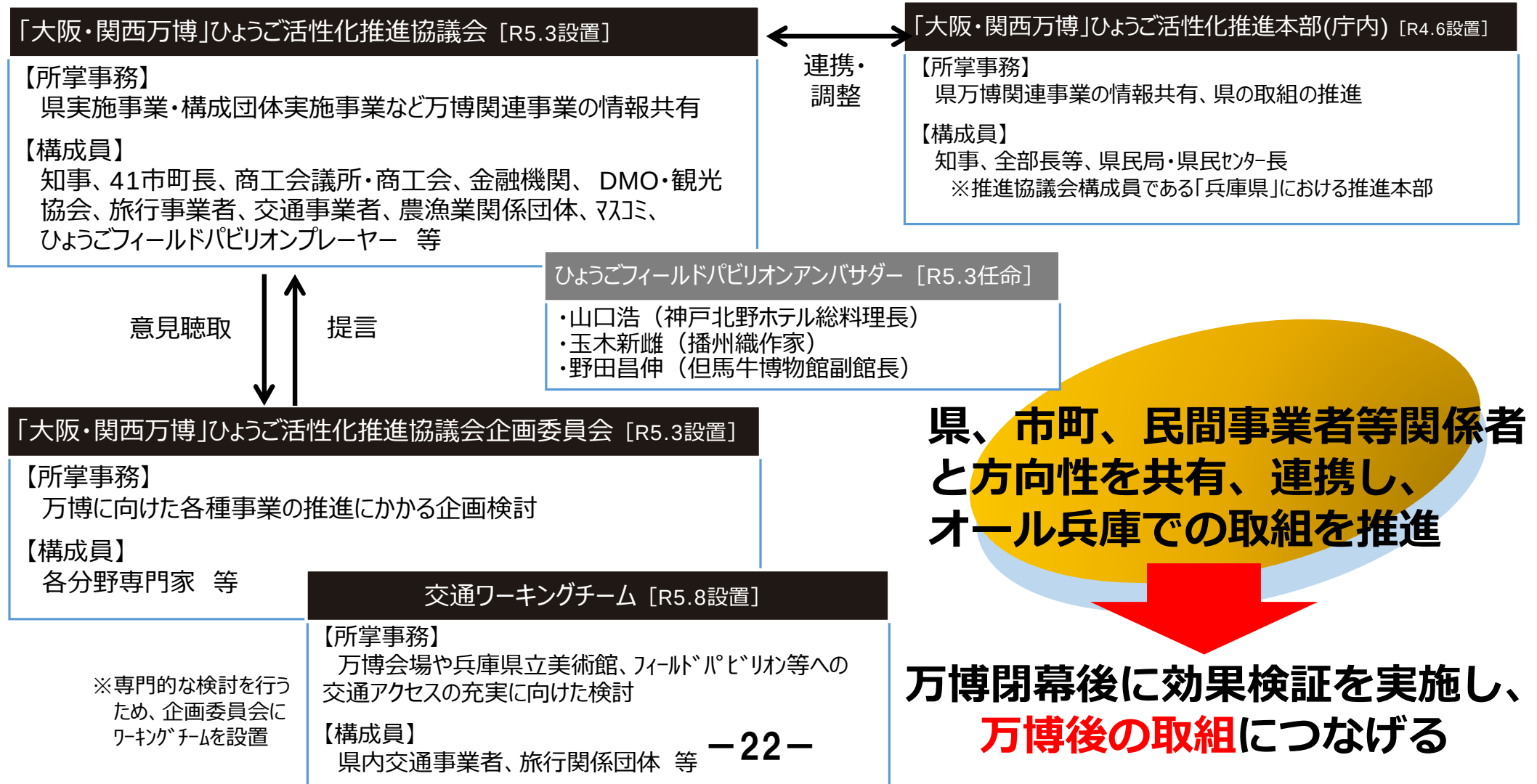
事業名 【R7事業費】	事業概要
アフター万博に向けたひょうご北摂 観光プロモーション事業 【2百万円】	アフター万博においても フィールドパビリオン等を含めた阪神北地域の魅力が伝わるプロモーション動画の制作を行い、 観光プロモーションによるインバウンドの来訪を促進 
外国人の誘客に向けた瀬戸内周遊 クルーズ 【4百万円】	万博や瀬戸内国際芸術祭の開催時 に兵庫・岡山・香川の様々な観光資源(姫路城、直島等)をリンクさせた クルーズを展開 し、外国人の誘客・周遊促進や姫路港の利用促進を図る 
西播磨フロンティア祭の開催 【15百万円】	万博の機運醸成、フィールドパビリオンの認知度向上 を図るとともに、播磨科学公園都市の賑わい創出と西播磨地域の連携・交流を促進するため、 地域PR・観光イベントを開催 
丹波地域への誘客促進に向けた二 次交通の整備 【11百万円】	丹波地域への誘客を促進するため、フィールドパビリオンや地域の観光資源等を巡る 着地型周遊観光バスツアー事業 を実施するとともに、 グリーンスローモビリティや電動自転車等の移動サービス提供 による二次交通の整備を実施 
AWAJI 島博の実現に向けた取 組の推進 【3百万円】	淡路島の豊かな自然、歴史文化、農業・漁業・畜産業、地場産業、食などを活かした多彩な観光コンテンツやイベントなど幅広い取組を「 AWAJI 島博 」として 展開 し、島内への更なる誘客を促進 

8 推進体制の構築

【R7事業費：6百万円】



- ・**県内41市町長、関係団体等が参画する推進協議会**において、万博関連事業の情報共有、事業の検証結果を共有し、**万博後の取組につなげる**。
- ・推進協議会の下部組織の**企画委員会**では、各事業の企画立案を行うとともに、**万博閉幕後は検証を実施**。
- ・フィールドパビリオンプログラムへの来場者アンケート調査等を実施し、**大阪・関西万博が兵庫にもたらす経済波及効果を分析**し、万博後の取組につなげる。



Ⅲ 施策体系別一覧



各事業展開に関するR7年度事業費（個別事業を含む県全体事業費）

区分	R7事業費(百万円)
1 ひょうごフィールドパビリオンの展開	176
2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ ひょうご EXPO TERMINALにおける魅力発信	447
3 ひょうご EXPO weekによる魅力発信	271
4 ひょうご EXPO 41による魅力発信	5
5 ひょうご EXPO DREAMBUILDERSの実施	51
6 公民連携による万博子ども招待プロジェクト	44
7 会期中のイベント・プロモーションの実施	834
8 推進体制の構築	6
合計（ハード含む）	1,834
合計（ハード除き）	1,687

IV ロードマップ



項 目		2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
フィールド パビリオン	プロモーションの展開	海外向けプロモーション 国内向けプロモーション WEBサイト・広報素材等による情報発信		
	プログラムの磨き上げ	座学研修→実地研修→アフター万博に向けた研修 各種支援の実施、モニターツアーの実施→商談会・エキスカーション		
	①展示設計・展示制作	展示設計	展示制作	現場工事
	②会場運営等		運営マニュアル作成・ スタッフ研修	運営
EXPO week	①事業推進	企画検討	本開催に向けた準備	本開催
	②参画促進・情報発信		募集(4月～)、参画促進(実施主体向け) 広報(一般向け)	
EXPO 41	①イベント開催	企画検討	本開催に向けた準備	本開催
	②情報発信		広報	
EXPO DREAMBU ILDERS	プロジェクト企画・推進	企画検討	プロジェクトの準備	実施(成果発表)
万博子ども招待プロジェクト	プロジェクト企画・推進	企画検討	共同 会見	説明会、学校へのサポート 意向調査 訪問→アンケート実施
会期中の イベント・ プロモーション	①機運醸成、プロモーション	500日前 イベント	300日、半年、1か月前の節目に カウントダウンイベントを実施	一体的プロ モーション
	②万博会場での催事開催	企画検討・関係者等との調整		本開催
	③尼崎万博P&R駐車場隣接地隣接地の活用	企画検討・関係者等との調整		本開催
			インフラ整備	原状復帰

V 万博に向けた兵庫の取組のKPI



- ・万博に向けた兵庫の取組の具体的な**成果指標（KPI）**をアクションプランにあわせて設定。
- ・観光としての誘客にとどまらず、シビックプライドの醸成、次世代を担う人材の育成、万博を身近に感じてもらうなど**ポスト万博を見据えた豊かな兵庫の実現に向けた指標を設定。**

	項目	KPI	設定の考え方
定性	1 ひょうご フィールドパ ビリオン	プログラム提供者の満足度 <u>「取組に自信が持てた」と思うプログラム提供者の割合 80%</u>	地域の人自らが発信することが、将来的な 誇り、シビックプライドにつながる
	2	地域への波及効果 <u>「自らの取組が地域活性化に貢献できた」と思うプログラム提供者の割合 80%</u>	フィールドパビリオンの取組が、自身や来場者に 影響するだけではなく、地域へも波及する ことをめざす
	3	来場者の満足度 <u>「SDGsの理解が深まった」と思う来場者の割合 80%</u>	来場者が地域でSDGsについて学ぶことが、 フィールドパビリオンの価値向上につながる
	4	来場者の満足度 <u>「兵庫をまた訪れたい」と思う来場者の割合 80%</u>	リピーターが増えることで、誘客促進につな がる
	5 ひょうご EXPO week	出展者の満足度 <u>「万博を感じる事ができた」と思う出展者の割合80%</u>	自ら万博会場への出展ができない方にも、 万博を身近に感じてもらう
	6 ひょうご EXPO DREAM BUILDERS	参加者(子供)の満足度 <u>兵庫がもっと好きになったと思う子供の割合80%</u>	次世代を担う子供たちに兵庫を好きになっ てもらう
定量	7 関西パビリオ ン「兵庫県 ゾーン」・ひょ うごEXPO TERMINAL	万博開催期間中の来場者数 <u>100万人</u> （兵庫県ゾーン 40万人） （県立美術館 60万人）	展示やイベント等を通じてフィールドパビリオンを はじめとした兵庫の魅力を発信し、1人でも 多くの来場者に兵庫の魅力を印象づけるこ とが兵庫へ向かうきっかけとなる
	8 ひょうご フィールドパ ビリオン	経済効果 <u>ひょうごフィールドパビリオンの観光消費額 550億円</u>	フィールドパビリオンへの誘客により、地域 の観光消費額の増加を図る